

特別展 癒やしの日本美術

— ほんのぼの若冲・なごみの土牛 —

Special Exhibition :
Healing Japanese Art — Jakuchū's Solace and Togyū's Comfort —

2023年

2024年

12月2日(土) - 2月4日(日) 主催：山種美術館、日本経済新聞社

心が温かく、優しい気持ちになれる日本美術で癒やしのひとときを

日常が大きく揺らぎ、不安定な世界情勢が続く今、「マインドフルネス」、「ウェルビーイング」、「チル」といった心の動きを意識する言葉が時代のキーワードとなっています。その背景として、自分自身の内面と向き合い、心を癒やすことが求められているのでしょうか。このたび山種美術館では、日本美術の鑑賞を通して、心が癒やされる展覧会を開催します。

伊藤若冲や長沢芦雪が描いたゆるくてかわいい姿。素朴でゆるやかな表情が魅力的な若冲《布袋図》(個人蔵)や《伏見人形図》、可愛い子犬たちがじゃれ合う芦雪《菊花子犬図》(個人蔵)など、ユーモアあふれる作品に、自然と笑みがこぼれます。また、奥村土牛《兎》や幼い我が子をモデルとした小出樞重《子供立像》など、愛らしい動物や子どもを描いた作品からは、対象をいとおしむ画家の愛情が伝わってきて、見た目のかわいらしさに心が和らぐとともに、温かな気持ちになります。そして、古き良き日本の自然を描いた川合玉堂《山雨一過》や、心地よい音を想像させる上村松園《杜鵑を聴く》を前にすれば、気持ちがリラックス。さらに、奥村土牛《浄心》のように、作品の制作自体が画家自身の心を癒やすことになった例もご紹介します。

心が安らぐ日本美術が並んだ、心地よい展示室で、癒やしのひとときをお過ごしください。

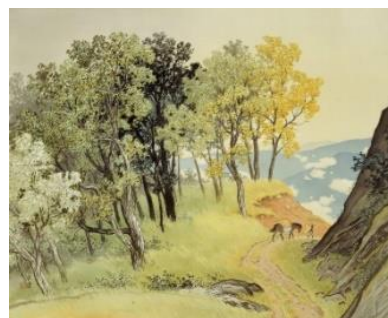
* 所蔵表記のない作品はすべて山種美術館所蔵です。



伊藤若冲《伏見人形図》
1799(寛政11)年 紙本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ①]



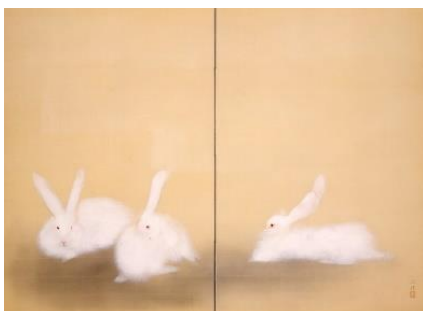
長沢芦雪《菊花子犬図》18世紀(江戸時代)
絹本・彩色 個人蔵 [画像請求 No. ④]



川合玉堂《山雨一過》
1943(昭和18)年 絹本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ⑦]



奥村土牛《浄心》
1957(昭和32)年 紙本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ⑫]



奥村土牛《兎》1936(昭和11)年
絹本・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ⑪]



千住博《光》1989(平成元年) 紙本金地・彩色 山種美術館 [画像請求 No. ⑩]

本展のみどころ

みどころ①

若冲、芦雪の「ゆるかわ」に心が和みます。



長沢芦雪《七福神図》
18世紀(江戸時代) 紙本・墨画淡彩
個人蔵 [画像請求 No. ⑤]

伊藤若冲《布袋図》、《蜻蛉と鶏図》や、
長沢芦雪《菊花子犬図》、《七福神図》
(いずれも個人蔵)をはじめ、肩の力が
抜けたゆるくてかわいい作品の数々を
ご堪能ください。

左)
伊藤若冲《蜻蛉と鶏図》
18世紀(江戸時代) 紙本・墨画
個人蔵 [画像請求 No. ③]

右)
伊藤若冲《布袋図》
18世紀(江戸時代) 紙本・墨画
個人蔵 [画像請求 No. ②]



みどころ②

ふわもふ動物、愛らしい子どもの姿に癒やされます。

ふわふわとした見た目が愛らしい奥村土牛《兎》や竹内栖鳳《鴨雛》、愛しい我が子を描いた小出権重《子供立像》など、かわいらしい姿に思わずにっこり！



山口華揚《生》
1973(昭和48)年 紙本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ⑭]

小出権重《子供立像》→
1923(大正12)年 カンヴァス・油彩
山種美術館 [画像請求 No. ⑨]



みどころ③

美術館でリラックス。

古き良き日本の風景を描いた川合玉堂《山雨一過》や、
心地よさえずりが聞こえてくるような上村松園
《杜鵑を聴く》など、心が安らぐ作品とともに、美術
館でリラックスした時間をお過ごしください。

上村松園《杜鵑を聴く》→
1948(昭和23)年 絹本・彩色
山種美術館 [画像請求 No. ⑧]



■ 展覧会名：【特別展】癒やしの日本美術 —ほのぼの若冲・なごみの土牛—

■ 会 期：2023年12月2日(土)～2024年2月4日(日)

■ 休 館 日：月曜日[1/8(月・祝)は開館、1/9(火)は休館、12/29(金)～1/2(火)は年末年始休館]

■ 開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■ 入 館 料：一般1400円(1200円)、冬の学割 大学生・高校生500円、中学生以下無料(付添者の同伴が必要です)
障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)一般1200円(1000円) ※()内は前売料金
きもの特典 きものでご来館のお客様は、一般200円引きの料金となります。 ※複数の割引・特典の併用はできません。
入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。





■ 主な出品作品(予定)：約60点 ※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。

伊藤若冲《布袋図》(個人蔵)、《お福図》(個人蔵)、《蜻蛉と鶏図》(個人蔵)、《伏見人形図》、長沢芦雪《七福神図》(個人蔵)、《菊花子犬図》(個人蔵)、
竹内栖鳳《鴨雛》、川合玉堂《山雨一過》《溪雨紅樹》、上村松園《杜鵑を聴く》、安田靉彦《観世音菩薩像》、小出権重《子供立像》、
奥村土牛《枇杷と少女》《兎》《浄心》、小野竹喬《春野秋溪》、小茂田青樹《雛》《愛児座像》、山口華揚《生》、山本丘人《風景》、
吉田善彦《五月の沼辺》、佐藤太清《清韻》、平川敏夫《童韻》、松尾敏男《緑枝翠影》、林功《月の音》、小笠原元《本島の春》、千住博《光》ほか

■ 会 場：山種美術館 (〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36)

■ 問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル) 電話受付時間：9:00～20:00

■ 公式 HP：<https://www.yamatane-museum.jp/>

■ 公式 SNS：   

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。※ 本展周知目的でない画像の利用や転載はお断りします。
※ 本展周知で作品画像等の使用を希望される場合は、別途広報素材一覧をご参照いただくか、下記までお問い合わせください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内) / 担当：片山、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F

TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatan-pr@ypcpr.com